

財政問題学習会参加者アンケート(H23年6・7月:全2回)

〔有効回答数: 18人〕

総参加者数: 30

回答率: 60.0%

【参加者の属性】

うち一般市民 30

出席者	市民	報道	職員	その他	不明
人数	18	0	0	0	0
割合(%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

〔性別〕

出席者	男性	女性	不明
人数	18	0	0
割合(%)	100.0%	0.0%	0.0%

〔居住地区〕

住まい	谷津・谷津町	津田沼	鷺沼	鷺沼台	藤崎	大久保	本大久保	花咲
人数	2	2	1	1	0	0	1	1
割合(%)	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%

住まい	屋敷	新栄	実籾・実籾本郷	東習志野	秋津	香澄	袖ヶ浦	その他・不明
人数	2	1	0	1	3	2	1	0
割合(%)	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%

〔職業〕

職業	会社員	公務員	農林漁業	自営商工サービス業	自由業(医師・弁護士等)	パートタイマー	家事専業	学生
人数	3	1	0	0	0	0	0	1
割合(%)	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%

職業	無職	その他
人数	13	0
割合(%)	72.2%	0.0%

〔年齢〕

年齢	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	不明
人数	0	0	1	1	14	2	0
割合(%)	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	77.8%	11.1%	0.0%

財政問題学習会参加者アンケート(H23年6・7月:全2回)

【1.「財政問題学習会を知った媒体等」※複数回答有り

認知媒体等	広報習志野	市ホームページ	まちづくり会議	知人	市民カレッジ	不明
人数	6	3	0	1	7	2
割合(%)	33.3%	16.7%	0.0%	5.6%	38.9%	11.1%

【2. 当日の説明内容について】

(1) 内容の難度

内容難度	大変 わかりやすかった	わかりやすかった	ふつう	わかりづらかった	大変 わかりづらかった	その他・不明
人数	6	9	2	0	0	1
割合(%)	33.3%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%

(2) 必要な情報の有無

情報は	必要な情報が得られ満足	求めていたある程度の情報得られた	求めている情報得られず不満	その他・不明
人数	4	11	0	3
割合(%)	22.2%	61.1%	0.0%	16.7%

(3) 本日の内容で一番印象に残ったこと

(財政状況)

- ・財政の状況
- ・国の財政、公債の残高の現状が、テレビでも何となく聞き流していたものが、明確に認識できた。
- ・「コスト情報とストック情報の把握」、今後とも広く市民に伝えることが必要ではないかと強く印象に残った。
- ・このような厳しい状況になるのは予想できたのに、過去どうしていたのかとの印象。
- ・財政状況悪化の中、緊急かつ重大な対応が必要だが、方向性の見えない現状。高齢化社会の中で、知恵と経験を持った年寄りを活用する手段はないか。
- ・予算額の少なさを再認識。税収をあげる工夫はどうなっているのか知りたい。

(公共施設関係)

- ・施設の老朽化対策の必要性についてよく理解できた。
- ・老朽化の内容について
- ・公共施設に向けた提言
- ・提言内容
- ・公共施設再生の取り組み(提言を含め)
- ・大規模・集中化(機能面)の提案化、利用者負担の再考慮
- ・公共施設の意味
- ・公共施設の老朽化が今後の問題だと考える。
- ・公共施設の老朽化とその対応。

(その他市政について)

- ・長期計画(30～50年)、中期計画(5～10年)を作成し、公会計に基づいた市運営を行って欲しい。
- ・市民協働がすべての市民にPRされていない。もっと市民招致を多くするべき。
- ・JR津田沼駅南口開発への「補助金」問題のようなことがあると、市民にガマンを要求しにくくなる。

(説明会について)

- ・説明資料は良いと思いますが、短時間での講義では良く考えが理解出来ない。

財政問題学習会参加者アンケート(H23年6・7月:全2回)

【3. 限られた財源の中で、公共施設の老朽化対策を実施し、市民の皆様のニーズに合った施設整備を行い、かつ、将来世代に良好な資産を引き継いで行くためには、施設の統廃合や、運営コスト削減のための民間活力の導入が避けられないと考えています。

この考え方に賛成・反対を含め、皆さんのお考えをお聞かせください。】

公共施設再生計画には	賛成	どちらとも言えない	反対	その他・不明
人数	13	2	1	1
割合(%)	72.2%	11.1%	5.6%	5.6%

(賛成)

- ・施設整備の前に無駄設備の調査を早め、その対策を公示して欲しい。市民の意識調査の方法を再考されたいかがでしょうか。
- ・施設の統廃合は十分に市民ニーズと意見を確認し、費用対効果の観点を重視して実行すべきである。民間活力の導入は積極的に取り組むべきである。更に、スピードが重要である。
- ・極端なサービスの低下は困るが、思い切った(ある程度割り切った)取り組みが必要と思う。
- ・受益者負担はある程度やむを得ず。減価償却の導入は再投資財源として提案すべき。
- ・既得権の見直しは必要ですが、要検討&市民の意見は必須。収入増の方策は何か検討しているのか。
- ・統廃合、多機能集中により、アクセスが悪くなる地域等あると思いますが、公共施設を中心としたアクセス網(バス、路線等)の計画見直し等必要。
- ・①公共施設の利用者は一部の人に限られている。また、利益を得ている人や団体の利用も多い。したがって、受益者負担の観点から、施設利用費の値上げ、利用者からの収益金からの特別徴収をすることを検討するべき。②延べ床面積が多いので、施設の統廃合をすべきである。

(どちらとも言えない)

- ・内容を吟味しないと何とも言えない。

(反対)

- ・全て反対ではないが、図書館指定管理者制度など、本来公が運営すべきことを民間に売り渡していると思われる。

【4. 今後の財政状況の周知方法のアイデアについて】

(説明会・まちづくり会議等地域を通じた周知)

- ・町会・管理組合等の単位で説明会を実施してはどうか。
- ・広報手段が多数ありますが、どれが不必要との事はないと思う。財政の問題は市民一人一人の税金に係ることである為、直接市民に説明する今回のような説明会を多く計画していただければありがたいです。
- ・やはり、基本的には人対人の関係の中での説明が一番良い。
- ・ホームページで、広報に加え、直前に会場周辺で公報車によるスピーカー宣伝をしてはどうか。
- ・まちづくり会議などで、もっときめ細かくサービス(説明)する必要がある。
- ・町会単位で回覧等でお知らせする方法。
- ・コミュニティの会合・町内会の会議等へ出かけて行き、説明会を催す。
- ・各地区での説明会が必要だと思います。

(説明会以外の周知)

- ・広報・ホームページ・講習会等
- ・短時間で市民に現状説明をしても、今後の対応に対しての効果はでないと思う。勤労者(若い人)に対して、分かりやすくする方策を検討して欲しい。私も含めてあまりにも知らない人が多いと思う。
- ・市議会議員が中心となり、地域エゴを極力排除して、事前によく調整を。

財政問題学習会参加者アンケート(H23年6・7月:全2回)

【5. 習志野市の行政サービスの満足度】

行政への満足度	大変満足	満足	ふつう	やや不満	不満	その他・不明
人数	0	8	6	3	0	1
割合(%)	0.0%	44.4%	33.3%	16.7%	0.0%	5.6%

習志野市以外の行政サービスを具体的に比較したことがないため良く分からない。

【6. 当日の講座へ参加した感想】

(説明会全般について)

- ・短い時間でよくまとまって説明していただいた。
- ・説明時間を短縮し、質疑時間を確保すべきです。
- ・習志野市の財政状況を知ることができました。
- ・初めて参加ですが、大変勉強となりました。
- ・このような集まりははじめてですが、大変勉強になりました。よく学んで公の皆様とより良い話ができる様にしていきたいと思っております。

(行政に関する意見等)

- ・我々市民も、何でもかんでも行政サービスを要求するのではなく、本当に必要なサービスは何かと検討し、必要に応じて最小限度の行政サービスをお願いする、との考えが必要である。又、従来からの予算執行方法を考え直し、一般市民の間では常識化している、新しい施設を建設する場合の基金の創設と積立減の考えを導入する事も必要と思われる。
- ・施設費・人件費当で、市立習志野高校の占める率が多いと思われる。16万の人口での市立高校の存在意義、そして、その存在の効果の検討が必要。方向性としては、県立への移管また私学への売却も方法ではないだろうか。また山梨の施設も検討すべき。
- ・市役所の職員の方には、優秀な方が多数いるので、上だけ見て仕事するのではなく、市民の方を見て是非活躍していただきたい。